



Ikusaka
Earth oven

ロケットストーブ式 版築アースオーブン

環境負荷が少ない土に還る暮らしをめざし、「究極の素材=その場の土」を使って雲根で取れた野菜でピザを焼くアースオーブンをつくります。今回は薪だけでなく、木の枝や竹も燃料として使うことができるロケットストーブ式のもの、雲根の土をつき固めてつくる版築（はんちく）という伝統的な方法でつくります。

どろんこ遊び・砂遊びの感覚でお子様から大人まで年齢性別関係なくどなたでもご参加できます。10月の収穫祭に向け、みなさんで力を合わせつくりましょう。このアースオーブンづくりをきっかけに、いくさか『創造の森』は地域の縁側となることをめざしています。

日時 8月20日(土) / 9月3日(土)
9月17日(土) / 10月1日(土)

各回共通
9時～17時

会場 いくさか『創造の森』(下生坂雲根地区)

収穫祭

10月15日(土) / 11時～13時

- 昼食は「ポットラック形式」で行います。一人一品の持ち寄りゴハンで昼食会を開きます。
- ランチタイムは松本山雅主催のお楽しみタイムを予定しています！奮ってご参加ください。

講師は建築家の遠野未来さん！

建築家 遠野未来

第1回目

8月6日(土)開催
AM9:00～AM11:00

【対象】小学生から 【持ち物】水筒、タオル、着替え
昼食1品(茹でたトウモロコシ・冷やしトマトなど)

【申込締切】8月1日(月)村づくり推進室まで

※定員:20名※定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申し込み先
村づくり推進室

TEL 0263-69-3111

1962年仙台市に生まれる。早稲田大学建築学科大学院修士課程修了。1995年に遠野未来建築事務所設立(所在地:長野県北佐久郡軽井沢町)1995年、自身のスタジオを設立し、現代的な土の有機建築に特化する建築家となる。「Red Container」、「Future House」、そして彼の代表的な作品である「Shell House / The language of the forest」は、ユニークで本質的なデザインと伝統的な土建築の特長と快適さを兼ね備えている。地場産の自然素材を用いたサステナビリティを提唱し、工業的な素材や工程からの解放と伝統技術の現代的活用を示した功績により、様々な国際的な賞を受賞し、日本や欧州での講演や会議にも参加している。

